

「上諏訪温泉朝市」実施事業

取組に至る背景・事業の目的

諏訪湖周辺では、モーニングタイム（朝起きてからチェックアウトまで）の楽しみが少なく、結果として他の観光地への移動を早め、滞在時間の短縮につながる恐れがあった。一方、団塊の世代や女性を中心に、健康への関心や地産地消による安心・安全な農産物等への需要が高まっており、新たな地域資源としての活用が期待されていた。

これらの背景をベースに、平成24年度から民間と行政の連携により「上諏訪温泉朝市」を開催したところ、多くの観光客、市民に楽しんでいただけた。

平成27年度は「地域に愛される朝市」を目指し、出店者と地域住民との交流の促進や県外向け情報発信に重点を置いて事業を行うこととした。

事業内容

○農産物の対面販売

上諏訪温泉・諏訪湖エリアにおける歴史・文化の発信拠点として著名な施設である片倉館において、諏訪広域で収穫された新鮮な農産物、名産品の対面販売を行った。

（7月19日～11月1日の毎週日曜日及び8月12、13日、9月23日の合計16回実施）

○併催イベントの実施

オープニングイベントの他、しあわせ信州観光キャンペーンPRイベントを共催し、観光客へ信州のPRを行った。

また、平成27年度は初の試みとして「銀座NAGANO」でのPR販売を行った。



【上諏訪温泉朝市の光景】

事業効果

○地元住民への定着が進み、常連のお客が増加したこともあり、来場者は平均374名（前年358名）と前年を上回ることができた。また、近隣宿泊施設の協力もあり、浴衣姿の観光客の来場も多く見られ、諏訪湖周辺での滞在を楽しんでいただいた。

○出店者数は平均20.3店（前年21店）となったが、安心・安全な農産物等を販売するために努力・協力することにより、質の高い朝市を維持することができた。

○終了時期を延ばしたため、りんご等果実類が店頭に並び、県外からの観光客の満足度向上に繋がった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

○農産物の安全を証するものとして、栽培履歴の提出を出店者に依頼し、来場者が閲覧できるようにした。
○出店料を通年出店と単日出店の2区分に統一し、開催時間も通年統一させた。これは出店者のみでなく、来場者にも概ね好評であった。

○諏訪東京理科大学によるアンケート分析に加え、新たな試みとして、諏訪実業高校や地元の小学校の児童生徒による販売体験を行い、地域内でのつながりをより重視した朝市と位置付けた。しあわせ信州観光キャンペーンPRイベントや銀座NAGANOでのPRイベントでは、それらの学校と協力したことで、より高い成果が発揮できた。

○今後は出店者主体の運営体制に移行し、朝市のさらなる定着を図ってまいりたい。

【選定のポイント】

新たな観光資源の提供による宿泊客の満足度向上に加え、地元住民の買物・交流の場としても定着してきており、今後の事業の継続、拡大が期待される。

団体名	上諏訪温泉朝市の会	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	諏訪観光協会（諏訪湖温泉旅館組合）	事業費	583,038円
電話	0266-52-7155	支援金額	362,000円